



# 2021 年度卒業生アンケート結果

2021 年度卒業生を対象に、インターネット上でアンケート調査を実施しました。669 名の卒業生のうち、150 名から回答をいただきました。ありがとうございました。回収率が最も高かった学科は、 国際経営学科  でした！ただし、全体の回答数が少ないため、卒業生全員の意見や考えを反映できていない点に注意して、結果を見る必要があります。

## 学生生活満足度・卒後進路の満足度

★★★★ 3.8

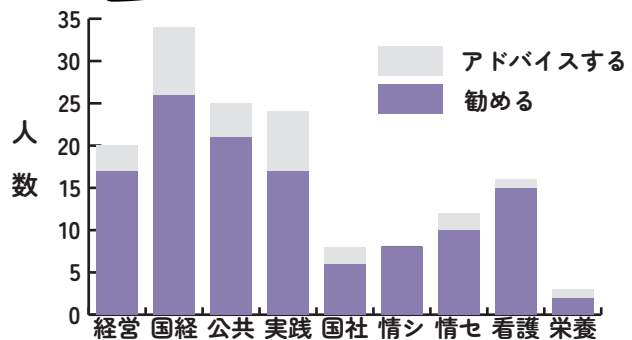
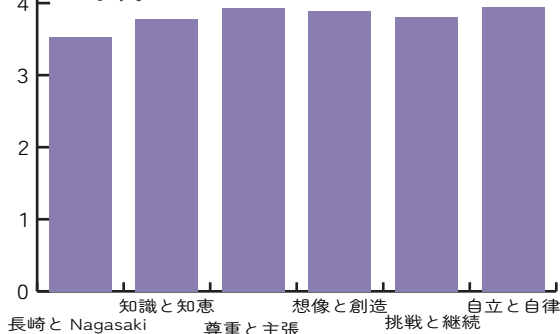
学生生活および卒後進路の満足度は共に平均 3.8 となり、ほぼ「期待をやや上回る」という結果になりました。なお、学生生活の満足度と卒後進路の満足度には関連性があるようです。

もしも今のあなたが、タイムマシンに乗って長崎県立大学入学前の自分に会ったとします。その時、昔の自分にそのまま入学することを勧めますか？それとも思いとどまるようにアドバイスしますか？



## KEN-SUN 力の達成度

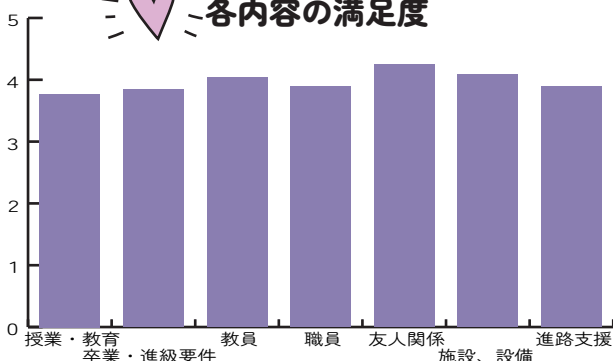
1=全く身に付いていない ~5=とても身に付いたの 5 段階評価で自己評価をしていただきました。全ての項目で平均は 3 を上回っていますが、「長崎と Nagasaki」が他に比べて平均が低めになっています。



「勧める」と回答した人は、充実した交友関係や独自性のある授業、自身の希望のなかったことなどを理由として多く挙げていました。一方、「アドバイスする」と回答した人は、希薄な友人関係や生活で不適応を理由として挙げていました。

もしも今のあなたが、長崎県立大学運営の最高責任者に任命されたとします。後輩達に本学への入学を強く勧め、そして入学者がより充実した学生生活を送り希望する進路を実現していくために、大学のどの点をどのように改善しますか。

## 各内容の満足度



全ての項目で平均は 3 を上回っていましたが、平均は友人関係が最も高くなっている一方で、授業・教育システムが最も低くなりました。

様々な回答がありました。それらを分類すると、主な内容は以下の通りです。

### ・学びたいことを学べる制度作り

必修授業の削減、フレキシブルな授業編成、他大学にない独自性のある授業提供、他学科等での授業履修の範囲拡大、卒業進級要件の緩和、等

### ・人的交流の促進

学科内・学科間・学部間における学生間・学生と教職員間の交流はもとより、他大学や地域企業との接触機会の増加、等

### ・大学提供サービスの向上

きめ細かい個人対応・学生起業支援、等

### ・設備面向上

学生が集いやすいような環境作り、等

### ・大学生生活の改善等

サークル支援拡充・生活環境改善・渡航機会の拡充、等

今回調査では、コロナ禍の負の影響が大きく見られたものの、総じて言えば、満足して卒業した学生が多かったと考えられます。皆さんの本学での学びの満足度を高めていくために、例えば、主体的に学べる授業の在り方の検討や交流行事の企画など、本調査の結果を活用していきます。皆さんの大学生生活満足度が高まるよう、これからも各種アンケートにご協力をお願いします。そして、卒業生の皆様、末永いご多幸をお祈りします。たまには大学に遊びに来て下さい。